

# 武甲山～大持山山行報告

【山行日】2024年 4月 21(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 1,500円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、青柳、飯野、大塚、嶋田、鈴木ミ、関、野口、廣瀬ナ、麦島、渡邊カ

【コースタイム】岩舟支所 P5:00＝一の鳥居 P6:45/7:05  
～大杉の広場 8:20/8:30～トイレ 9:05/9:15～武甲山  
920/9:40～シラジクボ 10:00～小持山 10:30/10:50～  
大持山 11:30/11:35～分岐 11:40/12:20～妻坂峠  
12:50/13:00～一の鳥居 P13:30/13:45＝  
道の駅「はなぞの」14:55/15:20＝岩舟支所 P16:30



山行アンケートで武甲山のリクエストがあり、久しぶりに大持山から妻坂峠の周遊コースを計画した。岩舟支所を5:00に出発し国道50号線を足利に向かって進み、久保田の交差点を左折し大泉

町に向かう。大泉町を抜け刀水橋から国道407号線を進み、熊谷市から国道140号線を通して生川の一の鳥居駐車場に着く。駐車場には車が10台くらい止めてあったが、今回は余裕で止めることが出来た。

新しくキレイな水洗トイレが併設され、登山者にはとてもありがたい駐車場である。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。駐車場からすぐに橋を渡り、生川の左岸のコンクリートの道を登って行く。途中、マス釣り場手前の道が土砂崩れで通



行できず、右側を高巻いてマス釣り場に出て道路を歩いて行く。しばらく進むと丁目石が出て来て、

13丁目石から山道に入り植林帯の中を九十九折れに登って行く。途中で水場があり沢の水をペットボトルに詰めてあり、余力がある人は上のトイレまで運んで行く。丁目石を数えながら杉の植林帯の道を登ると、大きな杉の木が立つ平坦な場所に出る。

大杉の広場でベンチがあり、休憩を取って行動食を摂り水分を補給する。大杉の前で記念写真を撮ったら出発し、杉の樹林帯から自然林に変りバイケイソウが群生する。急坂を登り四十九の丁目石を確認するとトイレの前



に出る。トイレを済ませたら武甲山御嶽神社を参拝し、神社の脇の道を登って山頂に着く。

北側はセメント工場の採石場となっており、柵で仕切られているが展望は素晴らしい。眼下には秩父市街、遠方には西上州の山々が見渡せ、今が見頃の羊山公園の芝桜を見つけ大喜び。休憩して



行動食を食べている間に空模様が変わり、雲に覆われて視界が遮られ雨がポツリと落ちてきた。大した降りにはならず雨は直ぐに上がったので、記念写真を撮ったら大持山へ向かう。ここからは明るい自然林の中を下り、カラマツの芽吹きやバイケイソウの緑に癒される。気持ちが良い稜線を進むと小持山への登りになり、右側の斜面にアカヤシオの花を見ながら急坂を登り切ると山頂に出る。山頂ではアカヤシオの花が出迎えてくれ、登って来た疲れが吹き飛んだ。アカヤシ

オの花に囲まれて休憩し、冷たいゼリーや菓子をいただきエネルギーを補給する。皆さん夢中でアカヤシオの花をスマホに収め、笑顔で写真を撮り合っていた。この先は露岩のヤセ尾根の下りがあり、落ちないように慎重に降りて行く。展望が良い尾根歩きが続き、急坂を登り上げると大持山山頂に着く。ここは展望が無く、山頂標識の前で記念写真を撮ったら少し下り、展望が良い妻坂峠への分岐でランチタイムとする。



南側の展望が開け、奥武蔵の山々の展望を楽しみながら美味しくランチをいただいた。ランチが済んだら下山開始し、分岐を左に下り妻坂峠に向かう。東に延びる尾根を緩やかに下り、新緑の尾根を爽快に降りて行く。下り切った鞍部が妻坂峠で十字路になっており、小休止したら左に下って行く。谷あいの道を九十九折れに下って行くが、緑のシャワーを浴びながら軽快に下れる。沢沿いの道になると傾斜が緩くなり、道路を横切り橋を渡ると一の鳥居

の駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら帰路に着き、途中の道の駅「はなぞの」に寄ってお買い物。ここからも往路を戻り、予定より早く岩舟支所に帰着した。